

令和元年

衣浦衛生組合第3回協議会会議録

令和元年12月16日



## 令和元年第3回衣浦衛生組合議会協議会会議録

令和元年第3回衣浦衛生組合議会協議会は、令和元年12月16日（月）午後1時衣浦衛生組合大会議室に招集された。

### 1. 協議事項

(1) クリーンセンター衣浦で発生した火災について（報告）

### 2. 本日の会議に付した事件

(1) 協議事項（1）

### 3. 議員

定数 10名 欠員 なし

出席議員（10名）

小林 晃三君	山口 春美君
神谷 悟君	新美 交陽君
杳名 宏君	神谷 直子君
岡田 公作君	鈴木 勝彦君
今原ゆかり君	内藤とし子君

欠席議員（0名）

### 4. 説明のため出席した者

管理者	禰亙田政信君	副管理者	神谷 坂敏君
副管理者	松井 高善君	参 与	吉岡 初浩君
事務局長	岡崎 康浩君	庶務課長	朝岡 得二君
施設課長	村田実千男君	業務課長	杉浦 嘉彦君

### 5. 出席した事務局職員

庶務課課長補佐	高橋 文彦君
施設課課長補佐	三矢 成由君
施設課第1係長	磯貝 光好君
施設課第2係長	鈴木 勲君
業務課課長補佐	杉浦 勲君
業務課管理係長	安藤 理純君

### 5. 出席した関係市職員

碧南市経済環境部長	永坂 智徳君
碧南市環境課長	金原 厚夫君
高浜市市民部長	中村 孝徳君
高浜市経済環境グループリーダー	板倉 宏幸君

高浜市経済環境  
グループ主幹 都筑 達明君

6. 出席した事務局職員

庶務課課長補佐 高橋 文彦君  
施設課課長補佐 三矢 成由君  
施設課第1係長 磯貝 光好君  
施設課第2係長 鈴木 勲君  
業務課課長補佐 杉浦 勲君  
業務課管理係長 安藤 理純君

7. 会議の経過

(午後1時開会)

○会長（鈴木勝彦君） それでは、ただいまより令和元年第3回衣浦衛生組合議会協議会を開会いたします。

ただいまの出席議員は9名ですが、内藤議員が時間を間違えておられましたので、追っつけ来られると思います。とりあえず9名で開始をいたします。

よって、令和元年第3回衣浦衛生組合議会協議会は成立いたしました。よって、会議を開会します。

これより会議に入ります。

本日の協議日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

---

○会長（鈴木勝彦君） ただいまより、協議事項（1）クリーンセンター衣浦で発生した火災について、報告を議題といたします。本件について、事務局長の説明を求めます。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） ただいま議題となりました協議事項（1）クリーンセンター衣浦で発生した火災について（報告）につきまして、参考資料1によりご説明を申し上げます。

はじめに、1の要旨でございますが、令和元年11月20日水曜日、衣浦衛生組合クリーンセンター衣浦工場棟内で火災が発生したことについて、ご報告するものでございます。市民の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけし、心よりお詫びを申し上げます。大変申し訳ございませんでした。火災の経緯等につきましてご報告をするとともに、議員の皆様にはご理解とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。

2の火災の経過でございますが、11月20日午後1時36分、工場棟内にある粗大施設より火災が発生いたしました。運転員らが即座にコンベヤを停止し、初期消火に当たるとともに来場者を避難誘導し、受け入れにつきましても停止措置を取る中、火の勢いが治まらず、午後1時50分に119番通報による消防の出動要請をしました。

午後1時58分から消防による消火活動が開始され、午後4時8分に鎮火を確認しました。なお、午後2時30分、消火活動に当たった職員1名が救急搬送されましたが、特に異常はなく、当日職場復帰を果たしております。

3の火災の原因でございますが、粗大ごみを細かく砕く可燃粗大破砕機によって発火性のごみが破砕された際に出火したものと想定されます。

4の火災による主な損傷箇所でございますが、5ページをお開きください。

クリーンセンター衣浦の平面図と断面図が添付してございます。今回の火災において、延焼した箇所をピンク色で表示をしております。全損が①のアルミ選別機投入コンベヤ始め5項目、一部損傷が⑥の振動ふるい始め8項目となっております。

なお、⑩制御系電気配線から⑬照明器具までは表示がしてございませんが、コンベヤ付近の機器等の延焼により損傷したものでございます。

2 ページへお戻りください。5 の火災後の対応（1）市民及び関係機関への周知でございますが、表左から区分、火災当日に行ったもの、翌日から11月末に行ったもの、12月から行ったもの及び予定のものが記載してございます。報道関係では、火災当日、新聞各社に報道発表するとともに中日新聞及び読売新聞の取材を受け、翌日の11月21日、中日新聞及び読売新聞の朝刊に掲載されました。また同日キャッチネットワークの取材を受け、放映をされております。

次に、ホームページでは火災当日、火災報告とクリーンセンターへのごみの受け入れ中止を掲載し、11月27日にその時点における受け入れできるもの、できないものの情報を掲載し、12月6日にはさらにその情報を更新してまいりました。その内容につきましては、両市議員の皆様にも資料の投げ込みをさせていただいたものでございます。

次に、広報、メール、掲示物では火災当日、高浜市防災メールにて火災告知と直接受け入れ中止を、11月29日には碧南市防災メール等で直接受け入れ中止を配信していただきました。

12月5日には直接受け入れ中止と地区でのごみの出し方のポスターの掲示依頼を、両市の公共施設に行ってまいりました。また、12月10日には高浜市防災メールにて直接受け入れ中止を再度配信をしていただいております。12月15日号の広報へきなんで火災報告と直接受け入れ中止を掲載し、新年1月1日号で高浜市広報に同じく火災報告と直接受け入れ中止の掲載を予定しております。

次に、町内会に対しましては12月2日、高浜市行政連絡会議で、また12月3日の碧南市連絡員幹事会にて火災状況を説明するとともに、回覧依頼を行ってまいりました。次に商工会議所等では、12月10日に碧南市及び高浜市の会員への事業ごみの出し方のチラシの配布依頼を行ってまいりました。

次に事業者に対しましては、火災当日より職員が随時電話にて状況説明や搬入方法などについて、連絡をしてまいりました。

次に（2）周辺自治体等への援助依頼につきまして、今回の火災事故の被害が甚大であり、焼却炉が停止したことにより、可燃ごみの焼却ができないため、急遽組合市、環境部局と連携し、三河知多清掃施設連絡協議会によるし尿及びごみ処理総合援助に関する協定書の第3条の規定に基づく援助依頼を所属団体へ行い、11月22日金曜日より12月6日金曜日までの11日間、市の収集ごみとし尿、脱水汚泥をここに記載の4ヵ所の受託施設へ搬出をしてまいりました。

次に（3）設備等の復旧状況でございますが、ア、焼却炉関係では火災当日の11月20日水曜日、鎮火直後より損傷箇所の調査点検に入り、11月29日金曜日より1号炉の運転を開始、12月10日火曜日より2号炉の運転を開始してまいりました。イ、粗大設備関係では復旧に向け、現在調査中でございます。

次に、6のクリーンセンターの受入状況でございますが、ごみ種類別の受入状況を一覧表で表

示してあります。区分欄、一般、直接持ち込みは、火災直後より当面の間、受け入れを中止させていただいております。次に市の回収ごみのうち、可燃ごみは火災翌日の21日はクリーンセンターで受け入れ、翌22日から12月6日まで、先ほどご説明した受託施設へ搬出をし、12月9日よりクリーンセンターで受け入れを再開しております。粗大及び分別金属は11月25日から受け入れを開始しております。次に事業ごみのうち、可燃ごみは11月22日よりパッカー車のみ受け入れを開始し、12月2日より破碎を要さない厨芥類の受け入れを開始し、9日よりその他事業者を袋詰め条件つきで受け入れを開始しております。次に、可燃粗大のうち刈草及び剪定枝は、12月2日より許可業者について袋詰め条件つきで受け入れを開始し、9日よりその他事業者も袋詰め条件つきで受け入れを開始しております。なお、家具等は12月9日よりシルバー人材センターの受け入れを開始しております。次に、不燃ごみは12月2日より受け入れを開始し、粗大ごみは12月9日より袋詰め条件つきで受け入れを開始しております。なお、一般家庭ごみにつきましては燃やすことのできるごみ、碧南市では資源ごみ、粗大ごみ、高浜市では分別ごみにつきましては火災翌日より通常通りの出し方での回収を行っております。

4ページをお開きください。

次に7の復旧の見通しでございますけれども、(1)復旧に要する時間につきましては、被害状況の調査結果を踏まえた詳細な工程について検討をしているところでございます。ただし、設備の大部分は受注生産品であり、完全復旧には長期を要するものと考えております。(2)復旧費用は現在算定中でございます。なお、復旧費用につきましては、建物災害共済の保険適用となります。ただし、保険の適用範囲、割合等は現在確認をしているところでございます。

次に、8の今後の対応でございますが、(1)施設の復旧につきましては、一刻も早く処理施設を完全復旧させるため、改修する設備等の納期短縮及び工程の調整等を進めてまいります。

(2)ごみ受け入れの対応につきましては、現在受け入れが困難となっております一般市民の直接搬入の受け入れにつきましては、組合市と協議をし、代替案を検討しているところでございます。まずは、資源ごみと剪定枝、剪定枝につきましては、45リットルの袋詰めが条件ということになりますけれども、資源ごみと剪定枝につきましては1月14日火曜日から午前中のみとなりますが、受け入れができるよう、現在調整を進めているところでございます。詳細がわかり次第、市民の皆様には回覧やメール、公共施設への張り紙などによりまして、周知のほうを行ってまいりたいというように考えております。

(3)再発防止に向けた取り組みにつきましては、今後、復旧作業を進める中で設備面での再発防止策を施すほか、人的対応としてごみの受け入れ時の監視強化など、火災発生リスク軽減に向けたさまざまな対策を講じてまいりたいというように考えております。また、今回の事故を契機に、いま一度リチウムイオン電池やライターなど発火しやすいごみの出し方など、適正なごみの搬出についても、さらなる啓発を行ってまいりたいというように考えております。

以上で、協議事項(1)クリーンセンター衣浦で発生した火災について(報告)の説明とさせ

ていただきます。よろしくお願いいたします。

○会長（鈴木勝彦君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） この5ページのところの赤い全損というところなんですが、私たち一般市民は、この下からずっと入り込んでこの不燃ごみピットというところで一旦、不燃用受け入れコンベヤのところへ新聞紙も雑誌も全部ここに入れるのではなかったですかね。監視員の方が見てみえて。ここでやって不燃ごみではないんだけど、新聞や雑誌も含めて直接搬入は基本的にはやらないんだけど、たまには私は本の固まりなんかを捨ててもいいよと言うから、こっちへ歩いて持って来てぽんと捨てることもあるんだけど、私たちの一般ごみは全く触らないところで、完全に破損した部分が発生したということですか。目視の部分は、ここにも今後の再発防止の中に目視の監視を強化すると。4ページのところの下から3行目に監視強化と書いてあるんですが、今何人で監視してみえて、それをやっぱり目は二つしかないので、人をふやすしかないと思うんだけど、どのような対応を考えてみえるんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 先ほど新聞、雑誌につきましては、資源ごみの入り口に入っていた青いコンテナの中に捨てていただいているということでございます。それから市民の方が2階に上がって粗大のほうを捨てているということで、この5ページを見ていただきますと、Aの部分ですね。ちょっと色がついていないんですけども、9のちょっと斜め下ですね。こちらのほうに剪定枝ですとか、タンスですとか、砕くことが必要なものをここで事前に運転員が1人ついておりまして、どういうものかを見て破碎のほうをかけております。ですから、先ほどの質問にもありました、どういうふうに監視しているかというところは、持ってきた粗大ごみについてはこのAの部分の前のところの可燃粗大受入コンベヤのところを監視をしている状況でございます。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） 一般的に私たち市民は、不燃ごみをこの2階まで運び込むことはありませんよね。たまたま車に積んでいて、それで燃焼する可燃ごみだけはここで降ろしたり、直接搬入することもあるかもしれませんが、青い箱に入れると言われたので青い箱に入れておいて、そのまま資源ごみを抱えたまま出て行って外に捨てるんですが、どういう人がこの不燃ごみのところに何を持ってくるんですか。入る余地なんか、ないのではないの。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。



○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 先ほど済みません。監視の人数のこと、7人で全員でやっておりますので。それと2階に上げるものなんですけれども、このAの手前のところの受入コンベヤのほうへは、先ほども申しましたけれども剪定枝ですとか、たんすですとか、破碎が必要なものを持って行っていただいて降ろすということになっております。それから、そこで資源はまた下に下りて行っていただいて、1階の資源場のほうへ出していただいております。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） 不燃ごみピットと書いてあるけれども、たんすの引き出しの、この金具がついていたり、そういうものの本当に分量的には物すごい少ないじゃないですか。10だったら、その1割ぐらいしかここに入らない。そんなに満タンにならないところですよ、これ。目視のところは⑨と書いてあるところまでで赤いところは全部トンネルになってしまうので、ここから入り込んで中で火災が起こるとわからないと。いうことで、大体どの辺が一番火が強かったんですか。この丸がついているところで。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 済みません。不燃ごみピットのほうは、完全に鉄とか、そういう燃えないものを捨てるようなところがございます。それから、ちょっと先ほど説明が悪かったですけども、可燃コンベヤのほうには当然、家具等を捨てるも金具等がついておりますけれども、そちらのほうは砕いて、その後コンベヤのほうに行って選別をするようになっております。

それから火が強かったところがございますけれども、このAの破碎機からこの9番を通過して4番のコンベヤへ乗るところで火が大きくなって、5番のほうに燃え移っていったところが一番最初のところがございます。それから4番から3、2、1はそのまま今度上階のほうになりますので、火がやはり上のほうに上がっていくところで燃えていったということで、全部がちょっと燃えてしまったというところがございます。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） これ、不燃ごみって全部基本的には資源か不要な不燃ごみということで、ここに持ってくることは基本的にはないじゃない。分け方によって何でわざわざ2階まで持っていくのですか、そんな不燃を。破碎機かけるということ、不燃そのもの。不燃も破碎かける、可燃も破碎かける。たんすなどの。それは別々にして片方は燃えるピットに入れる。鉄の、全く再利用不可能なものについては、不燃ピットにどこから流れていくの、これ。一番初めからもうここへ直接捨ててしまうということ。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 不燃のほうへは一般の方が入れるのは、ベビーカーですとか、ストーブ。油を抜いたストーブなどが、この不燃ピットのほうへは入れます。それから、この先ほどから申しておりますAの横へは、一応可燃の破碎が必要なものをこちらのほうで破碎機をかけて、順次分別、燃えるものと燃えないものにかかっていくような状況であります。それから不燃ピットも破碎機がついておりまして、これは不燃用の破碎機で潰して鉄とか、アルミとか、そういうようなものを分けて、ごみのほうへ出していくということでございます。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） シルバーさんだとか、業者の人や農家の方に聞くと、このAのところはベルトコンベヤへ入れるときに目視でやるんだから、ちゃんと見ていけば、例えば初めのうちはバッテリーかもしれないと言ってみえたけれども、ピンからキリまであるとは思いますが、この見ればわかりそうなものだけれども、そんな固まりで下ろしちゃって、その下にもし入っていたらわからないよということなので、もうちょっとこの距離もあつという間に行ってしまうんでしょう、このトンネルの中に。だから目視といたって、そんな大量のごみをこうやって拡散させながら見ているわけではないので、時間的にも間に合わない。不要な危険物が入ったとしても。ここはもうちょっと対策を取らないと。少し時間をとって、このトンネルの中に入っていきようにしないとだめだと思っただけけれども。一宮も同様な火事を寸前に起こして、このもとと製造会社のほうも、その目視だ、目視だと言うほど、よっぽど分別されていることを大前提にやっているのですね。でも、今、歯ブラシ、私の使っている歯ブラシだってボタンを押すと赤いランプがついて、電池がなくなったかどうか確認するんだけれども、あれなんか全然電池の出し入れがないので、そのまま可燃ごみで捨ててしまうもんね、私たち。あれで発火することはないのかもしれないけれども、あの中には小さな電池が入っているんじゃないですか、きっと。もう製造元からそういうことなんかもあって、本当に私たち真面目なんですよ、すごく。こういうの、捨てていいのかしらと思って迷いながらやるだけだけれども、ああいうものももし草ぼうぼうの中に入っていたら、摩擦でもって発火する可能性もあるということですかね。だとするならば、目視のエリアをもうちょっと長時間かけて、しっかり7人で見てみえるんだから。降ろしたりするのを手助けするのも一生懸命やってみえるので、実際にじっと見ている人がそんなに7人全員で見ているわけではないと思うんだけど、その辺も一つの解決方法じゃないの。それからなるべくトンネルのほうを見えるようにするとか。そこは業者は何て言っているんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） いろいろご意見をいただいたところは、やはり再発防止策として、まだちょっと検討段階ですので、こういうふうにするということはお答えできないんですけど

も、ご意見をいただいたということも含めて今後検討のほうはしてまいりますので、よろしくお願いたします。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） それと金属探知機なんかでは効き目があるかな、全く素人なので。でもこちらのピットの中でざっと燃していくと、そういうものも入っているんでしょう、きっと。鉄なんかの部分も。そこもやっぱり金属探知機で、そうしたらもうしょっちゅうとまるかもしれないけれども、やっぱり一定の監視をしていくということもライターが発見できるかどうかと思うんですけども、それ式のものはないんでしょう。金属探知機でのようなものは。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 今、金属探知機というお話をいただいたんですけども、このAの部分で破碎をいたしますので、その中でリチウム電池等が入っていると、やっぱり圧力がかかると発火するようなものというものを、この前の受入コンベヤで分けて取るようにはしているんですけども、やはりそのたんすの、本当に奥のほうに入ってしまうですとか、袋がそのまま入れられてしまっていてそのまま行ってしまう場合もございます。それで、その後の破碎のところなんですけれども、モニターをつけて発火物はチェックをしております。チェックをして、今回もそんなんですけども、破碎をして火が出るところで防水等をして、それが消えずに流れてしまってコンベヤのほうで燃えたというのが今回の事故ですけども、そちらのほうは何らかの強化対策と申しますか、そちらのほうは今後検討してまいります。

以上です。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） これピンクのところは全部自動消火装置がついているの。上からスプリンクラーみたいなもので、この火気が一定温度になると水が来て、しょっちゅうとまってなければいけないよね、きっと。そんなことだと。だから、火事とは隣り合わせだもんだから、これしょっちゅう、ぼやみたいなのはしょっちゅうあるでしょう。だから、それは前提として考えないといけないと思うんだけど、ここは全部消火装置が一带となっていてついているんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） コンベヤ全てに一定の間隔に放水機能がついているということではございません。やはり一番火が出るところに集中して水が流れる、このAの部分の破碎する部分ですね。それと5番の、最終的にピットに行くところのコンベヤに、ピットが燃えてしまうと本当大変になってまいりますので、この手前で放水する装置がついているということでござい

す。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） 私は今までには過去にはピットの中で火事が起こったので、上から水をかければとりあえずはいいわね。ということで、今回コンベヤに火がついたので煙も出るし、すごい大変でトンネルの中に入ってしまったら、もう手つかずということで、こういう大火になってしまったのかなというようには思っているんですが、このところ部分的にしか消防設備はなく、ほぼトンネルの中でやったら、気がついたのは何、4か5の、この間くらいで遠隔操作で見ているのに火が出ていると気がついたのですか。逆回りをして戻そうと思ったのですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 気がついた最初の火は、このAのところの破砕の下でモニター監視しておりますので、発火物があったと。そのところで消火のほうを試みたんですけども、火の勢いが強くて4番のほうに火が回ってしまったということでございます。4で気がついたということではございません。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） それではコンベヤのとめるのが遅かった。気がついて、ここコンベヤを目視で見ているということが、ぱたっととめる。これは非常停止装置が近くについているの。ぱたっととめれば、その段階で終わったじゃん。そんなに中までいかに。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 非常用停止装置がこのAのところで、運転員がモニターで監視しておりますので、火を発見した瞬間にコンベヤ停止はかけております。それでコンベヤ停止と同時に放水をしたということでございます。

○5番（沓名 宏君） 会長、5番。

○会長（鈴木勝彦君） 5番 沓名議員。

○5番（沓名 宏君） この3ページのところで、この全てのごみを受入開始になっておりますが、運転に支障はもうないということですか。一般の直接だけは受け入れしていないけれども、あとはみんな基本的には受入開始しているわけですよね。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） はい。おっしゃるとおりでございますけれども、やはり破砕機が壊れておりますので、小さくしていただいたものについては受けているという状況でございます。

○4番（新美交陽君） 会長、4番。

○会長（鈴木勝彦君） 4番 新美議員。

○4番（新美交陽君） これは燃えたところはコンベヤ、コンベヤと書いてありますけれども、ちょっとよそで聞いたんですけれども、このコンベヤってゴムでできているんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） そうでございます。

○4番（新美交陽君） 会長、4番。

○会長（鈴木勝彦君） 4番 新美議員。

○4番（新美交陽君） ゴムでも火が出たらみんな燃えてしまうから、あんなコンベヤではいけないぞと、知っている人から言われたんですけれども、そういうのもやっぱりこれから改修していくのについては、ゴムじゃなきゃできないのか、よくわかりませんが、その辺はやはり大きな不安要素を取り除くためにこれから検討していく、あれはあるんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 今、議員さん、おっしゃられるとおりでございます。今度、今まだ検討の段階でございますけれども、完全不燃のゴムはないんですけれども難燃系のゴム、ちょっとでも燃えないようなものを導入していくということは今検討中でございます。

○4番（新美交陽君） はい。

○会長（鈴木勝彦君） 4番 新美議員。

○4番（新美交陽君） よそのどこでしたか、一宮だったかな。どこか大きく燃えたときも、同じようなことが起きたと思うんですよ。そういったところについては、どのようなコンベヤを今後入れていくとか、それは不燃性のゴムで対応していくということですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 済みません。ちょっとよそのほうの、そういった情報は持っていません。

○4番（新美交陽君） 会長、4番。

○会長（鈴木勝彦君） 4番 新美議員。

○4番（新美交陽君） やっぱりこれは1回、火がつくと、みんなこれは燃えてしまっても、それはゴムで延焼したのではないのかなと思いますので、これは金属で全部できるかどうか、ちょっとわからないんですけれども、やっぱり今後の対策としてこの辺は非常に重要なところではないのかなと思いますので、十分検討していただきたいと思います。

○5番（沓名 宏君） 会長、5番。

○会長（鈴木勝彦君） 5番 杓名議員。

○5番（杓名 宏君） これが、コンベヤが全部直らないと、一般ごみの持ち込みはだめということですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 火災設備が復旧しないと、2階へは上げられないという状況でございます。それと、先ほど少し説明があったと思うんですけども、消防設備がまだ全部が復旧できておりませんので、不特定多数の方を2階には入れないという状況でございます。

○5番（杓名 宏君） 会長、5番。

○会長（鈴木勝彦君） 5番 杓名議員。

○5番（杓名 宏君） 具体的な数字は一切出てきませんので当面の間というのは、本当に、未知数でうかつなことは言えないと思いますけれども、相当長い期間ということでしょうか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） おっしゃるとおりでございます。先ほど説明したとおりで、ほとんどが受注生産品でございますので、今どれぐらいかかるかというところは、まだ調整中でございます。

○1番（小林晃三君） 会長、1番。

○会長（鈴木勝彦君） 1番 小林議員。

○1番（小林晃三君） いいですか、ちょっとそもそも、もうちょっと確認をしたいんですけども、この出火が13時36分というふうになっていまして、消防へ119番通報するまでに14分あるんですが、これは出火したときに、最初は自主消防隊と消火で何とかなると判断をして119番通報するのがおくれたように感じるんですが、このあたりはどうなんでしょうか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 火災が発生した場合なんですけれども、やはりこの破碎機のところは、リチウム電池等が潰されると発火する場合は件数的にはあります。そうした場合に我々、手順といたしましては、おっしゃられたとおり、自衛消防、初期消火をまずはコンベヤをとめて、同時に放水をして対応していくということをやっております。今回もそういった手順を踏んだところで、燃え方が広がってしまいましたので、消防を呼んで対応していただいたというところでございます。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） ガスマスクみたいなものは、ちゃんと十分に現場に用意してあるんです

ね。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） ガスマスクというようなものは置いてはおりません。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） 消防職員はみんなこうやって、やっていましたよね。もう救急車に備えつけだって、どんな場合もあるかもしれないということで。ここは煙でそんな被害も出たんだから、ちゃんとこういうものは消火器と共々置いておかないと。また肺に吸い込んだら大事になったよね、本当は。だから、それは火事と隣り合わせの職場ですよ、ここは本当に。そう思っていたほうがいくらい。だからそれは不十分だったんじゃないですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） おっしゃられることは、どの火災現場でも火が二酸化炭素等を発生して、それを吸って亡くられる方もおみえになるような状況でございます。今回のこの設備についても燃えることを前提としておりませんので、そういったガスマスクは用意していないということでございます。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口春美議員。

○2番（山口春美君） ぜひちゃんと、そんな高いものではないので。少なくともガスマスクといっても、この防災のできるもの。あるいは濡れたタオルをやるなりしてやるんでしょう、本当は。そういうノウハウも含めて備品も含めて設置するように。せっかくこういう機会だったので、きちんと教訓に生かすということが大切だと思うんです。私たちは何でもかんでも草も植栽も燃やしてしまうから、そこの間に変なものが混じっていたりして発見がおくれるということがあるので、やっぱりそれらも資源ということで見て、植栽や草などは枯らして別に再利用ができるようにしていくこと。生ごみも再利用ができるようにする。それらを取り除いたら、うんと減量にも役に立つと思うんです。ぜひそれを、これを機会にテストして足を踏み出していきたいと思います。

それから、一般ごみは1月14日の、お正月空けてからしか持ち込めないということで、大掃除のごみは考慮すると書いてあるけれども、具体的にあれから私は一般質問をやってから向こうで、数日たつんですが、どんな考慮のほうを、向こう行かして一旦そこへ、そんなにめちゃくちゃなものを持ってこないじゃないですか、家庭の破碎ごみなんていうのは。だからそこへ、たんすならたんすを、もうとりあえず置いておくとか。そういう形で上には上がらないにしても、たんすを置いて向こうに、またそれから臨時でここに置いてある資源ごみも、ずっと置いてもらっ

て、便宜を図って。ご迷惑をかけたんだから。向こうの川向こうで1順すれば大掃除のごみやら、出せなかった資源ごみやらが出せるようにしていくということは、きわめて現実的なやり方だと思うんだけど、それも入っているんですね、対応策に。1番目の有効な対応として。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） 今の資源ごみの分別ごみの再開ということでございますけれども、ただ単に運ぶだけではいきませんで、やはり分別指導員ですとか、それから交通整理をしていかないと安全性も確保できませんし、そのほか必要備品等々ございますので。それからし尿処理施設のほうで行えば運搬をしなければいけませんので、そういったいろいろなことを調整を今図っている最中でございますので、何とか1月14日から再開できるように我々としても努めていきたいという考えでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○3番（神谷 悟君） 会長、3番。

○会長（鈴木勝彦君） 3番、神谷 悟議員。

○3番（神谷 悟君） 4ページのところの再発防止のところ、今一度リチウムイオン電池やライターなどとも書かれておりますが、そもそもの本当のこの原因だったものは掴めているのか。想定でこの二つだろうなというようなイメージで、原因はここでもう追究はしていないよというところなのか、その辺をちょっと教えてください。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 原因は先ほど申したとおり、Aの部分の破砕機のところから落ちたごみが最初報告のほうを聞いて、運転員からの報告は10センチぐらいの塊の炎が落ちてきたと。ただ、そのものが何が燃えているのかまでは、ちょっと確認できなかったということでございます。

○3番（神谷 悟君） 会長、3番。

○会長（鈴木勝彦君） 3番、神谷 悟議員。

○3番（神谷 悟君） ありがとうございます。もう今はその原因、物に対して何が燃えたという原因追究はしていないというようで、今は復旧のほうにシフトして早く設備を直そうというように、今は進んでいるということで理解してよろしいですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 原因はわかれば追究はしていきたいんですけども、全てが燃えてしまった状況でございますので、燃え残りもちょっと確認ができなかったような状況でございます。議員おっしゃられたとおり、今は復旧に向けて1日も早く復旧ができるように努力していくところでございます。



○3番（神谷 悟君） 会長、3番。

○会長（鈴木勝彦君） 3番、神谷 悟議員。

○3番（神谷 悟君） ありがとうございます。ぜひとも二度と同じような災害というか、火災が起きないようにしていただくことが一番だと思いますし、もう1点だけ、ちょっと教えてほしいんですけども、2ページ目の5のところの火災後の対応というところで、高浜市さんと碧南市さんとで、このメールの配信のタイムラグがあるんですけども、その辺について、火災当日にもう高浜市さんは送っているようなんですけれども、なぜ碧南市は29日になったのかを教えてください。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） 両市でもって、いろいろ周知ということで手段を、あらゆる手段を使いながら周知をしていただきました。若干タイムラグということでありますけれども、まず一般市民の出せる通常のルートは確保してあったということと防災メールの使い方等、という部分での制約もあったというような話も聞いておりますので、組合、それから組合市とも、この周知には一部早い周知をということで取り組んではまいりましたが、その辺の時間的な差ができたということですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○3番（神谷 悟君） 会長、3番。

○会長（鈴木勝彦君） 3番、神谷 悟議員。

○3番（神谷 悟君） ありがとうございます。その辺で多分反省点が幾つもある、この周知することに対して反省点も多いかと思ひますが、その辺の反省点がありましたら、ちょっと教えてほしいんですけど。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） 周知がおそいというようなご意見を我々のほうにも入っておりますので、今ここでこういったものをとすることは、ちょっと策は今後の中で周知のあり方につきましては、両市ともども検討してまいりたいというように考えております。組合だけではどうしてもホームページぐらいでしか、それから報道発表するということではかないわけですので、ここは両市の周知のいろいろな周知方法を活用しながら広く、早く周知ができるように今後は努めてまいりたいというように考えております。

○6番（神谷直子君） 会長、6番。

○会長（鈴木勝彦君） 6番、神谷直子議員。

○6番（神谷直子君） 火災の原因ですけれども、先ほどからいろいろ出ておりましたが、この粗大ごみを表すここは持ち込んだのは一般の直接持ち込みなのか、市の回収ごみなのか、事業ごみなのか、それだけでもわからないんですか。

- 業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。
- 会長（鈴木勝彦君） 業務課長。
- 業務課長（杉浦嘉彦君） 持ち込んだ方の特定はできておりません。
- 6番（神谷直子君） 会長、6番。
- 会長（鈴木勝彦君） 6番、神谷直子議員。
- 6番（神谷直子君） 持ち込んだ方の特定はできなくても一般のごみだったのか、市の回収のごみだったのか、事業ごみの中だったのかというのわからないんですか。
- 業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。
- 会長（鈴木勝彦君） 業務課長。
- 業務課長（杉浦嘉彦君） ええ、それもちょっとわかっておりません。
- 7番（岡田公作君） 会長、7番。
- 会長（鈴木勝彦君） 7番 岡田議員。
- 7番（岡田公作君） 延焼しなかった附帯設備について結構熱がこもってしまうと思うんですけども、そちらへの影響のほうはどうなんでしょうか。
- 業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。
- 会長（鈴木勝彦君） 業務課長。
- 業務課長（杉浦嘉彦君） おっしゃられるとおり、この上5ページを見ていただきますと、この8番などは特にそうですけれども、半分燃えて半分そのまま。振動ふるいもそうなんですけれども、まだ電気を通すことができませんので、どれぐらいの影響があるかというところまでは、ちょっと特定できていないような状況でございます。
- 7番（岡田公作君） 会長、7番。
- 会長（鈴木勝彦君） 7番 岡田議員。
- 7番（岡田公作君） そうですね、しっかり計器類とか。そういったものも確認していかなければいけないと思いますし、摺動部だったらやっぱりもう1回給油、グリスアップとか含めて、しっかり設備を確認しなければいけないと思いますけれども、この火災をもとにした二次災害だけですので出ないように、確実に未然防止をお願いいたします。
- 会長（鈴木勝彦君） ほかに。
- 2番（山口春美君） 会長、2番。
- 会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。
- 2番（山口春美君） 情報伝達の方法ですが、碧南市は同報無線がまちの隅っこに、見れば川のへりっこに20基あります。面積が3分の1の高浜市はまちの中も含めて28基あるので、お年寄りが行方不明になったりしたときには、これを使ってみえると思うんだけど、例えば四六時中やらないにしても5時くらいときには衣浦衛生組合の焼却場の火災によって焼却場が今動いていませんというような、持ち込みごみは持ち込み禁止になっていますぐらいのことはやれた

というように思う。私は人的被害だというように、災害の一つだというように思うので、なぜ高浜市さんも、碧南市もそうですけれども、碧南市は言っても聞こえないというのはあるんですね、まちの中には。でも、高浜市さんはその気になれば28基あるわけだから、そんなに大ボリュームにしなくてもその周知徹底だけはできたと思うんですね。わざわざここに持って行く。相当高浜の方も持ってこられたんじゃないかしら。四六時中、作業員の方が寒い中も朝から晩まで立って、きょうは受け入れられませんというのを徹底するまで相当かかったと思うんですが、今もそうですけどね。それはやれたのではないかと思うんだけど、市長の判断というのはそれぞれ2市の方、どういうように判断してみえるのかなと思うんだけど、市民に直接被害はないと行って、持ち込みごみやお正月明けまでお正月、ごみと一緒に暮らすのかなと思うんですけども、14日まで受け入れられないということなので。やっぱりそれはそれで、もっと早くに伝達の方法があったのではないかというように思うんですけども、五宝大事にとってみえるの、その同報無線の利用については。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） 今、同報無線のということですが、そういったことも含めて今後そういう活用するのかどうかということも、両市と検討してまいりたいと思います。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） それで本会議にこの修繕の費用なんかも上程されるという風の便りも聞いているんですが、今週の末には議案が配付されるわけですね。20日ぐらいには。金曜日には。もう幾らもないので、おおよそ何、どのぐらいの予算を12月のこの本会議で出そうとしているのか。ものすごいお金を、全く想像だにできないんですが、それでそれから発注して約半年ぐらいとみていいのですか。おおよその目安は。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） まず費用につきましては、まだしっかりと調査が全て完了しておりませんし、それからそれに基づく請求もできておりませんので、はっきりと申し上げることは難しいですけれども、我々として今概算で聞いているのはおおむね10億円ということで聞いております。また、これは復旧するための期間としましては、一応工期としては7月ぐらいまでを、7月末までをめどとしております。7月初めぐらいには試行運転を開始し、完全復旧に向けて努力をしていきたいというように考えております。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） それはあそこの延命工事にも影響してしまうのではないかと心配してい

ましたが、それでも1億か2億かなと思ったんだけど、10億というのは法外ですね。それも含めて金曜日には議案をくださるんでしょう、私たちに。だからそこに数字が明確に書いてあるわけでしょう。ということで、今まで、その詳細を絞り込めていないということですが、大体10億で双方の負担金で借金も含めてやっていこうとしているのか。どんなあれ、もちろん繰越明許だわね。ということで、どういう措置をされようとしているのかなということで、少しヒントだけでもくださいよ。そんなの10億と聞いて黙っておれんわ。

○会長（鈴木勝彦君） 事前審査されますので、議案が出ましたら本会議で審査をお願いしたいと思います。ほかに。

○6番（神谷直子君） 会長、6番。

○会長（鈴木勝彦君） 6番 神谷直子議員。

○6番（神谷直子君） 今回周辺自治体の援助依頼をされて、回収に来るごみをとめなかったというのはすごく評価できると思うんですけども、それは多分BCPというか、ビジネスコンテニュープランみたいなのをつくられていると思うんですけども、そのプランに乗ってこれをやって、それでどこか反省点があったのか、あったら教えてください。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） BCPというところで、今おっしゃられたようなものは策定されておりません。近隣自治体をお願いいたしましたのは、先ほど説明した協議によって事前の共生と申しますか、そういったものに基づいて依頼をかけているということでございます。

○6番（神谷直子君） 会長、6番。

○会長（鈴木勝彦君） 6番 神谷直子議員。

○6番（神谷直子君） では、それは計画もないということなので、今後立てていく予定はあるのでしょうか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 今ここで具体的なことは申し上げられませんが、今後の課題であるということをお認識しております。

○1番（小林晃三君） 会長、1番。

○会長（鈴木勝彦君） 1番 小林議員。

○1番（小林晃三君） ちょっと資源のPR方法のほうで、ちょっと細かくお聞きさせていただきますけれども、今日こちらへ伺うときも、玄関のところで職員さんが立ってみえて、まだ一般の車でみえる方もちらほらまだいらっしゃいますので、その当たりしっかり徹底をしないと職員さんが四六時中、立っているのもなかなか酷な話ですので、しっかりPRをお願いをしたいのと、まだこの報告の中でもまだ算定中だとか、確認中だとかいうところもまだ多々あります

ので、またこのあたりは随時またこの議会のほうへ報告はいただけるのかを確認をさせていただきます。

○事務局長（岡崎康浩君） 会長、事務局長。

○会長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） 今後につきましての、こういった協議会を開くかどうかはちょっと別にしまして、今までもそうでしたが、今後につきましても、それぞれ詳細がわかり次第、議員の皆様にはお伝えをしていきたいというように考えております。

○2番（山口春美君） 会長、2番。

○会長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） うち石川島播磨でIH何だったか、そういう名前になったところに頼むと思うんだけど、全国的な規模でこの同様な火事は起こっていないのか。ゴムということですから当然劣化もするでしょうし、一定期間でコンベヤの更新はしているのかどうか。それから油なんかも落ちるので、そういうものの関係でメンテナンスは取りかえも含めてやっているのかどうか。もし、火のそばであるし、油も吸うし、想定していないとはいえ、そういう発火物なんかも入る危険性があるというのに、ベルトコンベヤで設計しているということ事態は余りあちこちで問題が起こっているならば、やっぱり構造的な欠陥もありということなので、今延命工事で石川島播磨をほとんど発注しているんですけども、そういう構造的な問題ありということで企業責任も求めることも必要かと思うので、ほかの多種メーカーも含めて今はどういう材でやっているのかね、そのベルトコンベヤに当たる部分を。碧南市のやり方が何でもかんでもコンベヤに流してやってしまうこと自体が問題だったよということで、こちら責任が保険の関係もあるんですけども、あるのかどうかも、ぜひ十分に専門的に調査していただいて。10億という多大なお金が本当に、この火事の中で生まれてしまうというのが私も非常にショックなので、ぜひ専門家あなたしか頼りになりませんから、精査していただいた企業の皆さんとも今後のおつき合いもあるでしょうし、よく設計のミスだとか、材のミスだとか、そういうのも浮き上がらせていただいて、やっぱり2度とこういうことがないようにしていただきたいです。よろしく願います。

○10番（内藤とし子君） 会長、10番。

○会長（鈴木勝彦君） 10番 内藤議員。

○10番（内藤とし子君） ちょっとここには全損にも一部損傷にも入っていませんが、11番の消防設備というのはどこにあるんでしょうか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 消防設備というのはちょっと簡単に描いてあるんですけども、この2階のプラットホームの図面がございますけれども、この中に火災が発生した場合に感知する

火報装置等がございます。そういったものが火にあぶられてしまいましたので、今現在使用することができないという状況でございます。

○10番（内藤とし子君） 会長、11番。

○会長（鈴木勝彦君） 10番 内藤議員

○10番（内藤とし子君） では、消防設備も傷んでいるということなんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 消防設備も復旧をしていく工事となります。

○10番（内藤とし子君） 会長、10番。

○会長（鈴木勝彦君） 10番 内藤議員。

○10番（内藤とし子君） プラットホームと書いてあるところと言われたんですが、ちょっとこの消火設備、どういうあれかわかりませんが、実際には初期消火の時点で使わないで一緒に被害に遭っているということかどうかということと、プラットホームと書いてありますが、このどこにあったのかを教えてください。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 済みません。今ちょっと詳細の、火報の位置のところは資料を持ってございませんので、お答えできませんけれども、消防法で定める間隔が何メートルに1個という形で、ここのほうにはついております。それから消火設備につきましては、このAの部分で9番の斜め下ぐらいに、こちらのほうで破碎して火を確認しますと放水する装置がついてございます。

○10番（内藤とし子君） 会長、10番。

○会長（鈴木勝彦君） 10番 内藤議員。

○10番（内藤とし子君） それが実際には使って、一緒に被害に遭ったということなんですか。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 会長、業務課長。

○会長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） そちらのほうは作動させております。

○会長（鈴木勝彦君） 意見も出尽くしたかと思えます。また26日には12月議会がありますし、またそのときに進展があれば、また事務方から報告を願いたいと思えます。ほかに質疑があれば。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○会長（鈴木勝彦君） 質疑もないようですので、これにて報告を終わります。

○会長（鈴木勝彦君） 以上をもって協議事項を終了いたします。これにて、令和元年第3回衣浦衛生組合議会協議会を閉会といたします。

慎重審議ありがとうございました。

（午後1時55分閉会）

以上は、令和元年12月16日に行われた令和元年第3回衣浦衛生組合議会協議会の会議録であります。

令和元年12月16日

会 長 鈴 木 勝 彦